

病害虫防除技術情報第4号

平成24年5月17日

三重県病害虫防除所

クワシロカイガラムシの防除適期は 5月第5半旬頃です。

1 対象作物： チャ

2 対象病害虫名： クワシロカイガラムシ

3 発生状況

1) 3月中旬～4月上旬の低温により茶芽の生育が遅れていますが、4月中旬以降は高温となりクワシロカイガラムシの孵化時期が早くなっています。有効積算温度による発生消長予測式では、第1世代幼虫の孵化最盛日は5月20～22日頃と予想されます。茶業研究室（亀山）におけるクワシロカイガラムシ孵化最盛日の実測値（過去7か年平均）は5月23日ですが、これより3日ほど早くなっています（表）。

2) 巡回調査圃場（5月第2週）では、越冬雌成虫の寄生株率は18.1%（平年15.0%）と、やや多い状況でした。

4 防除対策

1) 防除適期は幼虫孵化最盛日から3日後です。歩行型幼虫が固着して白色のロウ物質に覆われると、薬剤の効果が著しく低下します。

2) 予測結果はアメダス地点のもので、標高や圃地の微気象によるずれがあります。指導機関による実際の孵化状況に関する情報や自圃の実際の孵化状況をルーペ等で確認して適期防除しましょう。

3) 薬液が樹冠内の枝に十分かかるよう、丁寧に散布してください。

4) 周囲の茶園の摘採状況に留意し、隣接茶園の摘採が終わったことを確認してから防除してください。

表 有効積算温度に基づくアメダス観測点の
第1世代幼虫孵化最盛日予測結果（計算日5/15）

予測地点	実測日（過去7か年平均）	予想孵化最盛日
四日市	—	5/21
亀山	5/23	5/20
粥見	—	5/20
上野	—	5/22

予測される防除適期：5月第5半旬

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。